

令和4年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標 めざす生徒像		(1)幅広い教養を身に着け、確かな知識と技能の習得を目指し、真理の探究に積極的な意欲を持つ人間の育成		達成度	A	達成	
		(2)責任感と正義感に富み、規律ある行動のできる人間の育成			B	概ね達成	
		(3)個性の発見と伸長に努め、主体的に進路を決定する能力を持つ人間の育成			C	やや不十分	
		(4)健康で明るく、情操豊かで創造力に富む人間の育成			D	不十分	
具体的目標 重点目標		(1)「千年桜計画」の推進（『環境教育』『公共性教育』『安全教育』の三本柱で、主体的に生き抜く力を育てる） (2)魅力ある総合学科教育に向けた取組 (3) これからを生きる力の習得 (4) 心に響く生徒指導の充実 (5)進路指導の更なる充実 (6) 開かれた学校づくりの推進					
自 己 評 価							学校関係者
分野	評価項目	主な取組み・達成状況				達成度	評 価
学校運営	本校の教育環境	○学者減少に伴う教員数の削減があったが、職員全体が協力しながら業務に取り組み、丁寧な指導を行うことができた。また、北村山高校魅力化プロジェクトとして、在校生の学校生活が充実するための工夫や改革を実践するとともに、魅力の外部発信に力を入れ、成果を上げることができた。 ○地域考究の授業をはじめ、ジモト大学の参加、ヨット活動、やまがたAⅠ部の活動、ボランティア活動など地域と関わって協働活動を実施することができた。このことを通し、来年度からのコミュニティ・スクール導入の基盤をつくることができた。				B	A
	本校教員の熱心度					B	
	本校教育への満足度					B	
	地域への貢献度					B	
学習指導	授業のわかりやすさ	○基礎学力と学習習慣の定着を目指すとともに、体験活動も取り入れ、総合学科の特色を生かすことができた。一人一台タブレットの導入によりI C T機器を活用した授業が積極的に行われた。また、支援が必要な生徒に対しての授業対応等の授業研究に加え、中学校の教員を対象とした公開授業も行った。 ○学校設定科目「考究実践」では、設定したテーマに沿った探究活動を、地域自治体や商店街などの多大な協力を得て実践し、外部の方を招き2回の発表会を開催した。				B	B
	成績評価の適切度					B	
	学校設定教科「地域考究」における探究学習の充実度					B	
生活指導	校則規律の順守	○毎日登校時に、挨拶や服装を整えさせながら遅刻指導を行った。交通安全指導や登下校時のマナー指導をP T A生活指導・保健体育部と教職員で協力して行った。身だしなみ指導の際の職員の目線を合わせるために一斉指導を行った。 ○いじめや問題行動の未然防止や早期発見のために日頃から丁寧に生徒を観察し、年次と連携をとり、情報を共有するように努めた。				B	B
	生活指導の徹底度					B	
	生徒の理解度					B	
進路指導	進路指導の充実度	○2年次インターンシップ事業、1～3年次による外部講師による講話を実現し、生徒たちに段階的に将来の生き方や職業観を考える種まきができた。各種講話や進路別集会等は、行政、企業の地域人材派遣等の協力を得て実施することができた。進路情報や各年次の進路行事を課通信やHPを通じて発信した。 ○総合的な探究の時間の実施方法については各年次と連携を密にし、アイデアを出し合い工夫しながら進めることができた。				B	B
	進路情報の伝達					B	
	進路目標達成度					B	
部活動等	指導体制の充実度	○顧問のサポートができるように部活動指導員を配置した。また、今年度から部活動の日を月2回設定して部活動の指導に専念できるようにした。特に運動部は冬期間の部活動の日はトレーニングを中心とした一斉活動をし、生徒のモチベーションをあげるようにした。 ○クラスマッチを6月と12月に開催した。実行委員の企画・運営により全校生徒が楽しむことができた。また、学園祭では生徒の家族2名まで及び地元の中学校3年生の来校を認めて実施した。全校生徒だけでなく来場した方も楽しむことができた。				B	B
	部活動実績					B	
	学校行事					B	
P T A 等	学校情報の周知度	○新型コロナウイルス感染症の影響で変更や縮小を強いられたが、徐々に本来の活動に近づけるように各活動を実施した。街頭指導は春と秋の2回実施することができた。「花のかけはし運動」は親子地域貢献活動として参加し6月の定植作業43名、10月の撤収作業30名でボランティア活動を行った。 ○生徒の健康管理としては、毎朝の健康チェックを「さくら連絡網」に入力することで、自らの健康の維持と増進について意識させた。				B	B
	P T A活動					B	
	清掃活動の徹底度					B	
	生徒の健康管理					B	
総括	○魅力ある学校づくりに取り組んで2年目になり、地域と連携した協働活動に力を入れてきた。学校設定教科「地域考究」、そばガールズの活動、ジモト大学への参加、セーリングチームの世界大会出場、AI 甲子園への出場などどれも地域の方々と共に生徒たちが頑張ってきた成果である。関わっていただいた地域の方々には感謝している。来年度からはコミュニティ・スクールの一環としてこれらの活動を継続していける持続可能な体制を整えていきたい。外部への発信も継続して積極的に行っていく。 ○学習はもちろん、生徒会の活動や部活動では少人数だからできることを工夫しながら実施することができた。その中で生徒の個性を活かし、自信につながる指導を心掛けた。保護者とのつながりを一層大切に、チームとして生徒を育てる学校づくりを継続して行っていきたい。						

